

“市民が主体!!” コミュニティ活性化プロジェクト

対象とする課題

人口減少・少子高齢化が急激に進むことにより、地域のコミュニティ機能は低下し、地域力が弱まっています。こうした地域事情の変化により、リーダーの減少・高齢化や課題に対して、各地域・各団体等が単独で解決することができなくなりつつあります。そこで、次の取り組みを中心として新たなコミュニティ基盤を作り上げていく必要があります。

- 地域が結束し、現在もしくは将来の地域課題を地域住民みんなで共有し、その問題解決に向けて、一致団結する。
- 単独の地域等による活動だけでは限界があることから、地域間連携や産学官連携を行う。

目 標

- ① 「地域協議会」という市民主役の協議の場の設置と持続可能な体制づくり。
- ② 地域で明快な目標意識を持つ「(将来の) 地域リーダー的存在」が自然に生み出され、多くの地域住民が積極的に参加したいと思うような魅力的な地域活動の推進とバックアップ。
- ③ 地域ビジョンの作成と実現により、コミュニティの底上げをし、魅力ある地域にしていく。
- ④ 地域間連携や産学官連携等を行うことにより、小さな力を大きな力にする。

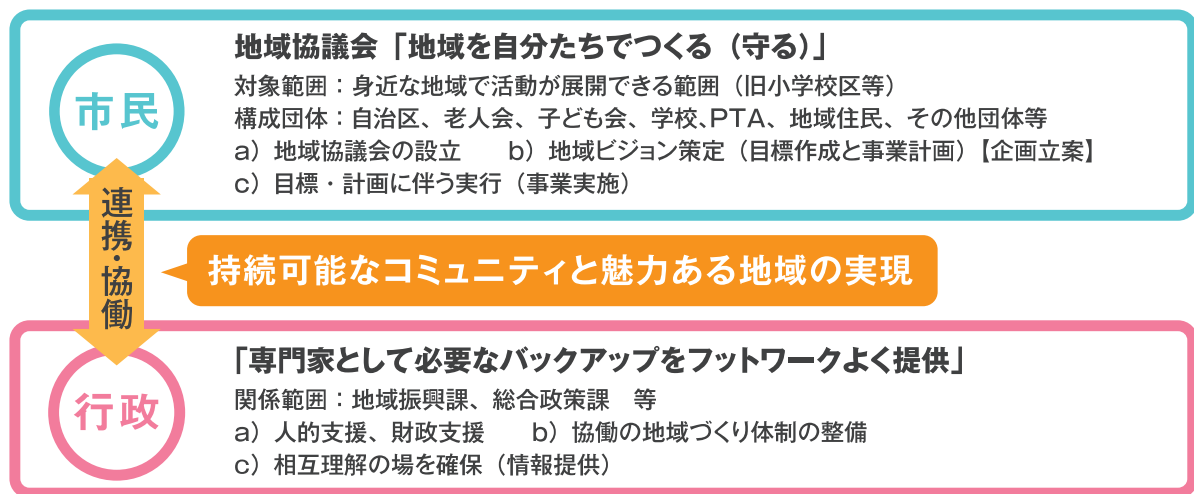
基本方針

- ① 「まちづくりの主人公は市民」の理念の下、行政は専門家として、必要なバックアップをフットワークよくしっかり行う。
- ② 地域間連携や産学官連携等の推進をする。
- ③ 地域の実情、住民の意識に留意した“その地域にあったプロジェクト”推進を行う。

成果指標

指標名	直近値	目標値	指標の説明
地域協議会設立	－（H 26 年度）	5 地区（H 31 年度）	市民主役の協議の場の設置
地域行事参加者	37.30%（H 26 年度）	50.00%（H 31 年度）	地域行事への参加者の増加
連携による事業実施数	－（H 26 年度）	5 件（H 31 年度）	コミュニティ事業連携の実施数
地域ビジョンの作成と実行	－（H 26 年度）	5 地区（H 31 年度）	地域像の作成とそれに向けた活動の実施

推進体制



目標実現に向けた主な取り組み

	主な取組名	取組内容の説明	担当課	関係課
1	地域コミュニティ形成促進事業	各自治区単独では解決できなくなりつつある課題の解決のため、市民主役の新たなコミュニティ組織として地域協議会の設立を推進する。協議会は『地域の課題を地域で解決していく』組織としての役割を担いながら、事業実施を通じ必要な人材（将来の地域リーダー）を育てていく。	地域振興課	総合政策課等
2	地域ビジョンの作成・実現事業	自分たちが住み慣れ親しんだ地域の将来像について考え、それぞれの地域でこれからの地域づくりについての話し合いや交流を深め、地域の実情に合った取り組みを検討（目標・計画の作成）・実施する。行政は専門家として場合に応じて、支援や助言、バックアップを行う。	地域振興課	総合政策課等
3	いろんな団体とやってみよう！交流・連携事業	地域づくりについての取り組み事例の紹介、他の地域や団体との意見交換や先進地視察等、地域と地域の交流、地域と産官学の連携で、地域に新しい風を吹き込む。また、「地域づくり」について考える機会として、様々な分野で活躍するまちづくりの達人、専門的な知識を持った方等を講師として招き、出張出前講座を開校していく。	地域振興課	総合政策課等

目標実現に向けたステップと5カ年のスケジュール

地域が結束し、みんなで課題を共有し、その課題解決に向けて、一致団結するためには地域協議会の設立が要となるため、十分な時間をかけて設立を行っていきませんが、関係機関による相互の理解がスムーズに進めば、スケジュールにとらわれず設立を行います。設立後、地域ビジョンの作成を行い、ビジョンに従い、事業活動を行います。

	主な取組名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
1	地域コミュニティ形成促進事業	地域選定	実施	実施	実施	評価・検証
2	地域ビジョンの作成・実現事業	地域選定	地域選定	実施	実施	評価・検証
3	いろんな団体とやってみよう！交流・連携事業	要望収集（準備）	実施	実施	実施	評価・検証

“市民が主体!!”
コミュニティ活性化プロジェクト

